

「いたばしさんぽ」関連データ等使用ガイドライン

1. はじめに

板橋区は、令和4年度「SDGs 未来都市」に選定されたことを契機に、区民・企業等にSDGsを「自分ごと」として捉え、自ら目標を設定して取り組むことを推進する「SDGs ローカライズ・プロジェクト」に取り組んでいます。

この取組の一環として、板橋区オリジナルのSDGs ボードゲーム「いたばしさんぽ」を制作しました。このゲームは板橋区の地域性を反映したのですが、ゲームの仕組みなどの枠組みについては様々な横展開が可能だと考え、この関連データをオープン化することとしました。みなさまのまちのオリジナルゲームの制作にお役立てください。

2. 「いたばしさんぽ」の4つの特徴

(1) 主体的に楽しみながら取り組める「能動的コンテンツ」である

できる限り多くの方に興味を持ってもらえるよう、直感的に楽しめるゲーム内容としました。学びの「きっかけ」を創出するうえで「腑に落ちる」体験を重視し、「わかる」「きづく」「考える」といった能動的な要素を入れました。

(2) 地域性を反映し、自分に身近なものだと思えるものである

自分に身近な地域の取組を知り、それらの取組がSDGsにつながっていることに気づくことで、「SDGs が身近」となり「自分ごと化」と考えました。また、板橋区は「絵本のまち」としても知られていることから、区になじみ深いクリエイターの視点やデザインをゲームに反映させました。

(3) 行政だけでなく、区民・企業等の意見が反映されている

ゲームに地域性を反映させるうえで、行政の一方的な視点では不十分だと考えました。

ワークショップやテストプレイ、意見収集を通して、区民や企業・団体、区立小学校の教員や児童たちなどの視点を集め、ゲームに落とし込みました。

また、そのプロセスを通じて、区民等がSDGsについて知る・考える・行動するきっかけとすることで、「自分ごと化」につなげることを狙いとしました。

(4) 異なるターゲット層に向けた複数の展開施策がある

このゲームを「ローカルスタンダード」として、区民の皆様に愛されるものにしたいと考え、下記3つの展開を見据え、制作しました。

①学校教材としての展開

ターゲットは小学5年生とし、主に区内小学校の授業で活用されるものとししました。

②一般配布用リーフレットとしての展開

一般区民を広くターゲットとし、区内のSDGsの取組のインタビュー記事を掲載することで、よりSDGsの取組実践を推進するものとししました。

③イベントコンテンツとしての展開

一マス 40cm 四方の巨大印刷版を制作し、プレイヤー自身がコマとなってゲームを楽しめるものです。ファミリー層をターゲットとして、家族で SDGs に触れるきっかけを創出することを狙いとしました。



3. 関連データ等の使用目的

「いたばしさんぽ」は、SDGs を「自分ごと」と捉える「きっかけ」の創出を目的とし制作しました。その著作権は板橋区に帰属しますが、SDGs の普及促進を目的とするものに限り、関連データ等を提供します。ただし、営利目的のものを除きます。

4. オープン化する関連データ等の種類

板橋区がオープン化する関連データ等は下記を想定しています。

- ・ゲームの仕組み
- ・ゲームのレイアウトデータ (Adobe Illustrator)
- ・ゲームをリーフレットとして展開するためのレイアウトデータ (Adobe Illustrator)
- ・ゲームのあそびかたブックデータ (Adobe Illustrator)
- ・教員向けガイド等データ (Microsoft Word)
- ・ゲームに地域性を落とし込むため、板橋区が実施した経験・ノウハウ (参考情報)

なお、上記データを活用することで、地域性を反映する下記要素のみの用意で、特定地域のオリジナルゲームを制作・展開可能と考えています。

- ・ゲームの盤面データ (イラストにあたる部分)
- ・ゲームのマス目の文章 (地域性があり、SDGs の各ターゲットに該当するもの)
- ・ゲームをリーフレットとして展開する場合の掲載情報

5. 関連データ等使用のルール

- ・使用前に必ず当ガイドラインをご一読いただき、文末の『「いたばしさんぽ」関連データ等使用届出書』に必要事項を記載の上、下記提出先宛てに電子メールでご提出ください。また、完成後は、完成品（または写真、コピーなど）を同提出先宛てに郵送または電子メールでご共有ください。

【提出先】

〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号

板橋区政策経営部政策企画課ブランド・SDGs 係宛

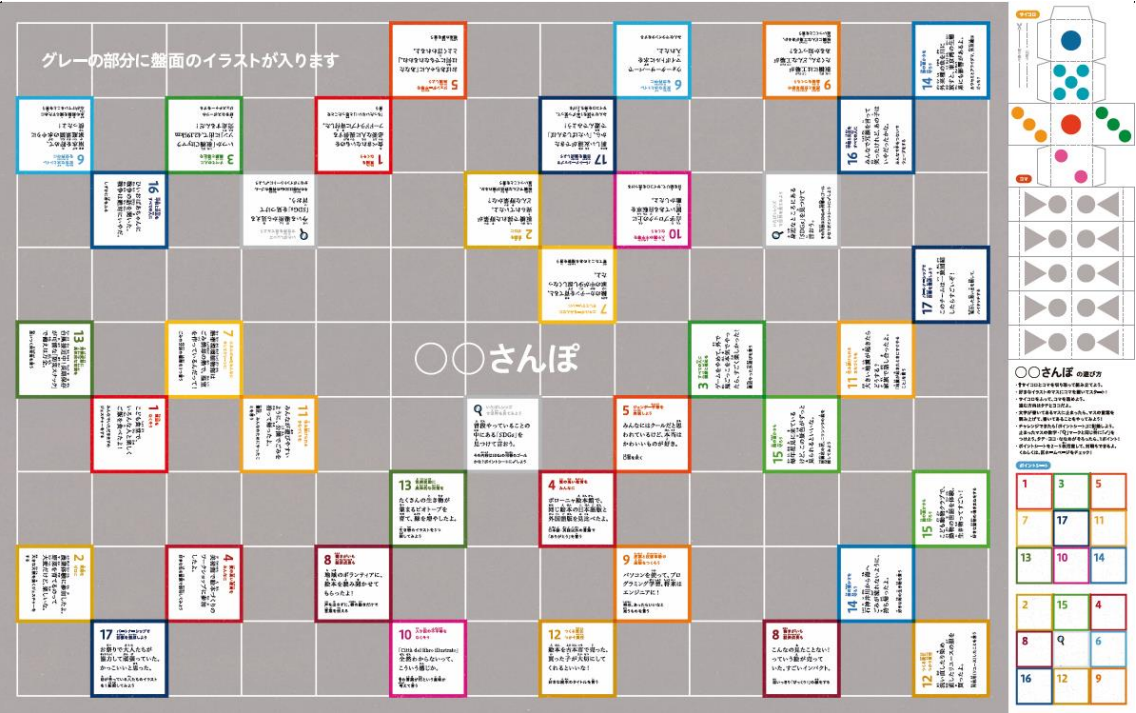
電話 03-3579-2515 E メール : sk-promo@city.itabashi.tokyo.jp

- ・ゲームのタイトルは原則として、「〇〇さんぽ」（〇〇は地域名称が入る）とし、特定のエリアをマップ型の盤面としたものとします。（プレイヤーが主体的に進む方向を決めるゲーム性から「さんぽ」としています。）
- ・ゲームそのものやリーフレット等の展開施策に、原則として下記文を入れることとします。

このゲームは東京都板橋区が制作した「いたばしさんぽ」関連データ等を使用しており、SDGs と身近な暮らしの接点を見つけるツール「MIJI-SUS」を援用しています。

- ・それぞれの地域の SDGs ローカライズの達成のため、取組の広報や展開、情報共有等を通して、板橋区と相互の連携協力を行うこととします。
- ・板橋区が使用を不相当と認めるときは使用を禁止します。板橋区が使用を禁止したことにより損害が生じた場合や、使用により第三者に対して損害・損失を与えた場合等について、板橋区は一切の責任を負いません。

参考①. ゲームのレイアウトデータ



参考②. ゲーム盤面に写真を活用した例



「いたばしさんぽ」関連データ等使用届出書

『「いたばしさんぽ」関連データ等使用ガイドライン』を確認し、そのルールを遵守します。

1	使用する団体・地方公共団体名	
2	所在地	
3	担当部署	
4	ご担当者	
5	メールアドレス	
6	電話番号	
7	使用目的（簡潔な内容で構いません）	
8	完成予定日	